

香川大学におけるデジタルスキルポートフォリオ 作成支援システムの内製開発

菊池 志帆

香川大学 創造工学部／香川大学 情報化推進統合拠点DX推進研究センター

1. はじめに

- エンロールメント・マネジメントとは、**学生の募集から卒業までの全プロセスを戦略的に管理し、最適な学生体験を提供するための統合的マネジメント**のことを指す
- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムは、エンロールメント・マネジメントにおける**在学段階の支援**に位置づけられる（図1）
- 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は、**企業や組織のDX推進に必要な「5種類のDX推進人材」**を定義するとともに、それぞれに**求められるスキルや知識を「DX推進スキル標準」として体系化した**
- 「DX推進スキル標準」では、**5種類の人材類型（図2）と、ロール、DX推進において担う責任が規定されている**
- 近年、社会全体でDXの重要性が高まる中、**香川大学では高度情報専門人材育成（DX人材育成）事業を開始**
- 教務システムからAPIを用いて学生情報を取得し、学生の知識やスキル獲得状況を可視化し、自己理解やキャリア形成に活用できるデジタルスキルポートフォリオ作成支援システムを内製開発した**

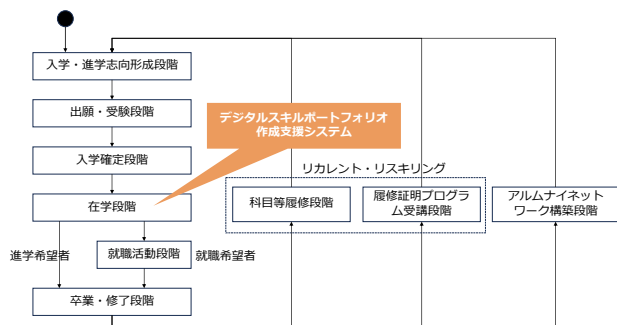


図1 本研究で定義したエンロールメント・マネジメントのサイクルとデジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの位置づけ

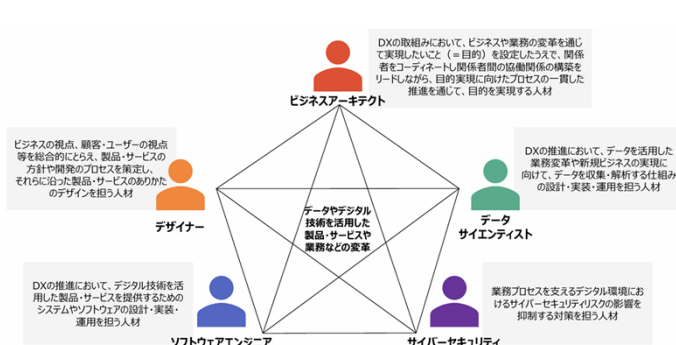


図2 人材類型の種類（出典：独立行政法人情報処理推進機構）

2. デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの開発

- 基幹システムである教務システムと香川大学が内製開発した業務システムをAPIで連携し、システム開発に取り組んだ（図3）
- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムは履修情報取得機能とデジタルスキルポートフォリオ作成機能の2つの機能から構成されている
- 履修情報取得機能は、Microsoft Power Automateは、APIを用いて、教務システムから、学生情報・成績情報を定期的に取得し、Microsoft SharePoint上に構築されたデータベースに格納する
- デジタルスキルポートフォリオ作成機能は「DX推進スキル標準」と香川大学で開講された授業を紐づけた対応表をベースに、学生ごとのスキル獲得の達成度をレーダーチャートやグラフなどで表示

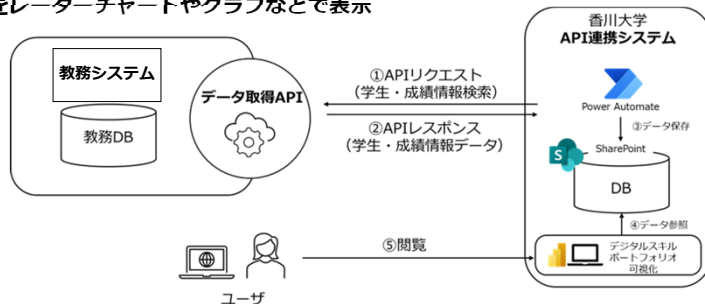


図3 デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムのシステム概要図

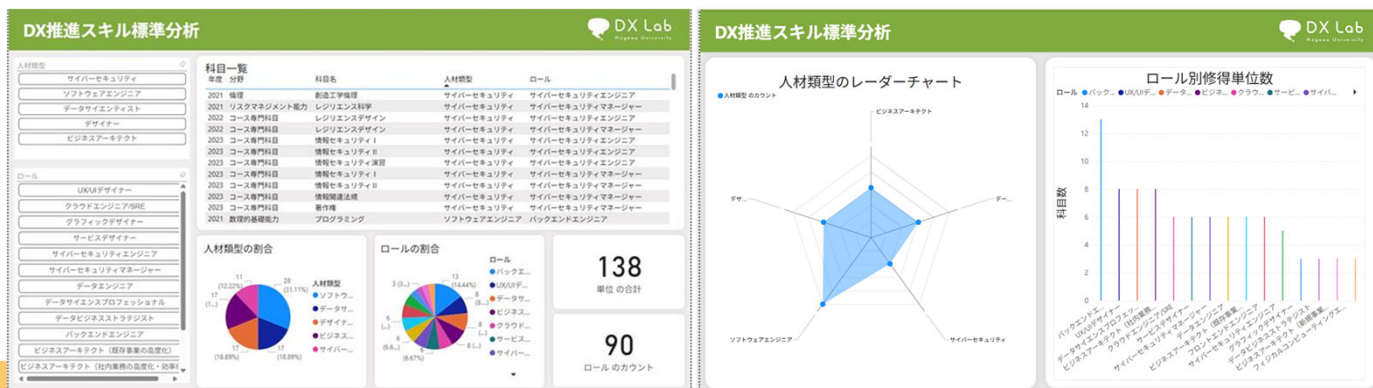


図4 デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムの可視化画面

3. まとめ

- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムはエンロールメント・マネジメントの在学段階の支援に位置づけられる
- デジタルスキルポートフォリオ作成支援システムは、IPA が定義する 5 種類の DX 人材類型に基づき、学生が自身の知識やスキル獲得状況を可視化する
- 単なる履修管理にとどまらず、学修成果の内省や将来のキャリア設計に資するツールとして作用する効果が期待できる